

## コロニアルクアッド

アクリルコート仕上げ

耐水性グレード ★★	保証 製品 本体	厚み 5.2mm	1坪当たりの重量 約68kg	一般名称 平形屋根用スレートφ5.2 (一文字)	適用地域 ○ 一般施工地域 ○ 積雪施工地域 × 施工不可地域	不燃材料認定番号 NM-2093	屋根30分耐火構造 FP030RF-1935-1 (硬質木片セメント板18mm以上)	平成12年建設省告示第1399号 (平成 30年改正)
---------------	----------------	-------------	-------------------	--------------------------------	--	---------------------	--	--------------------------------



【標準色】  
CC262\*  
ネオ・ブラック

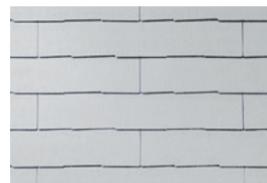
### 【オプション色】



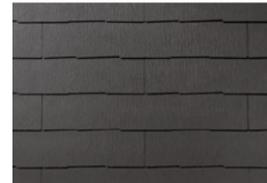
CC275P\*  
パール・グレイ



CC235P\*  
アイス・シルバー



CC225P\*  
シルバー・ホワイト



CC221P\*  
ココナッツ・ブラウン



CC241\*  
ウォルナット・ブラウン



CC247\*  
アイリッシュ・グリーン



CC277\*  
ウェザード・グリーン



CC291\*  
グラス・ブラウン



CC223\*  
メロウ・オレンジ



CC226\*  
ミッドナイト・ブルー



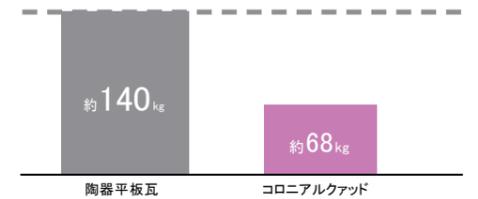
CC293\*  
ボルドー・レッド

## 災害からまもる

### ■地震時の住まいの揺れを抑える軽い屋根材

建物は重量が重いほど地震時の揺れが大きくなり、重心が高ければ揺れはさらに増大します。カラーベストは全商品が一般的な陶器平板瓦の約1/2という軽さ。建物の総重量を軽く、重心を低くでき、住まいの減震効果が期待できます。

■陶器平板瓦との本体重量比較 (1坪当りの重さ)



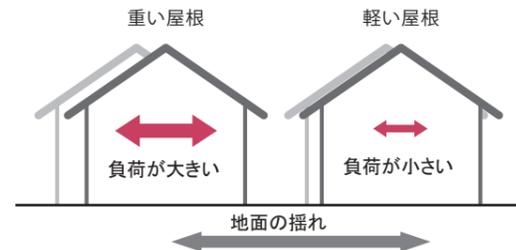
屋根で減震



屋根は軽いほど建物の重量を軽く、重心を低くできるため、減震効果が期待できます。

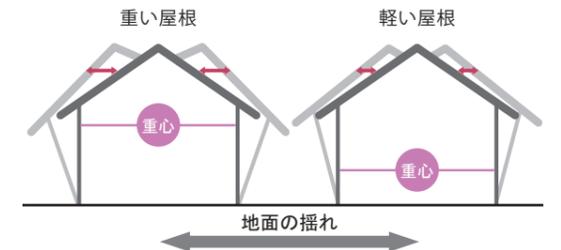
#### 1 建物の重量を軽く

屋根が重いと大きく揺れ、建物に余分な負荷がかかりますが、屋根を軽くすると揺れとその負荷を小さくできます。



#### 2 建物の重心を低く

軽い屋根で建物の重心を低くすれば安定感がより高まるため、地震時の建物の揺れ幅を小さくできます。



※屋根の重量だけが違う同じ建物に同じ加速度の力を与えた場合、建物にかかる負荷や揺れの違いをイメージしています。

### ■暴風・豪雨の影響を受けにくい設計

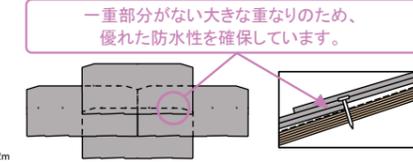
屋根材の大きな重なりと下葺材で豪雨でも漏水を抑えます。

カラーベストは屋根材で一次防水を、下葺材で二次防水する2段階の防水設計。屋根材裏面に浸水した場合でも、下葺材で野地板への浸水を防ぎます。

#### ■防水試験 (社内試験)



【実験条件】  
● ぬれ量: 240mm/hr  
● 風速: 30m/s  
● 試験時間: 10分間  
● 面積: 約2㎡  
● 4寸勾配、流れ長さ2m



一重部分がない大きな重なりのため、優れた防水性を確保しています。

#### ■防水試験結果

品名	表面への漏水量	備考
カラーベスト	微量	—
セメント洋瓦	多	ジョイント部より浸入
陶器瓦	多	ジョイント部より浸入

防水試験結果はあくまでも性能評価の目安です、台風などの自然の風とは異なります。  
※ケイミー屋根材には高い防水性がありますが、2次防水としての屋根下葺材は必ずご使用ください。

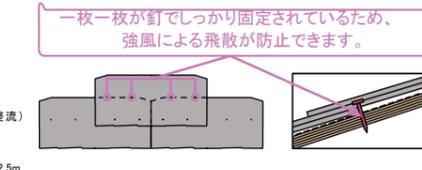
屋根材の一枚一枚を釘で固定して、ズレや飛散を防ぎます。

一枚一枚の屋根材を4本の釘で固定する釘留め方式で、強風による屋根材の飛散やズレを最小限に抑えます。

#### ■耐風試験 (社内試験)



【実験条件】  
● 風速: 20m/s~60m/s(整流)  
● 試験時間: 10分間  
● 面積: 約4㎡  
● 4寸勾配、流れ長さ2.5m



一枚一枚が釘でしっかり固定されているため、強風による飛散が防止できます。

#### ■耐風試験結果

品名	フラットリング=風によるバタつき				
	20m/S	30m/S	40m/S	50m/S	60m/S
カラーベスト	異常なし	異常なし	異常なし	フラットリング	フラットリング
セメント洋瓦	異常なし	異常なし	フラットリング	フラットリング	飛散
陶器瓦	異常なし	異常なし	フラットリング	フラットリング	飛散

風速60m/sの試験でも飛散しませんでした。

耐風試験結果はあくまでも性能評価の目安です、台風などの自然の風とは異なります。  
※瓦の種類によって耐風性能は異なります。  
※耐風基準は別途建築基準法に準じて設定しております。  
詳しくは、屋根材総合カタログをご参照ください。